

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 9日 更新

事務事業名		地下水関係事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input checked="" type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康		所属部	市民生活部
	施策	17	水の保全・安定供給		所属課	環境衛生課
	業務分野	58	地下水のかん養と河川、池沼の汚染防止		所属班	環境衛生班
予算科目	会計	一般	款	4	項	1
			目	7	事業連番	10206
					法令根拠	水質汚濁防止法、熊本県地下水保全条例、合志市雨水タンク設置補助金交付要綱
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	県と連携して、河川や地下水の水質調査を継続して実施し、結果を公表している。 地下水保全に寄与するため、熊本県ほか熊本地域11市町村及び企業などで構成する「くまもと地下水財団」に参画し、熊本地域の地下水の現状を調査研究し、効果的な地下水涵養と水質の改善につながる具体的な取り組みを行っている。市でも、地下水保全に資するため、平成21年度より雨水タンク設置に対する補助金を交付しており、令和7年度からは新たに雨水浸透ます設置に対する補助金を交付する。(交付した補助金全額がくまもと地下水財団から支給される)。熊本県地下水保全条例に基づく地下水採取者からの採取量の報告や採取に係る申請や届出関係については、市で受付し、県へ進達を行っている。 令和6年3月に県が新たに策定した「地下水中の硝酸性窒素対策に関する熊本県基本計画(R6-R25)」に基づき、令和8年度までに合志市独自の硝酸性窒素削減計画の策定を行う。また、県及び熊本地域11市町村と連携して策定した「熊本地域地下水総合保全管理計画(H21-R7)」の令和8年度改定に向けた協議に参画する。
【業務の流れ】	くまもと地下水財団の総会、理事会、幹事会への出席、負担金支払事務 県の依頼を受け井戸所有者(使用者)へ報告書提出依頼文の送付、報告書を取りまとめ県への進達事務 補助金交付申請受付、決定・確定通知の送付、補助金支払事務。くまもと地下水財団への補助金交付申請、請求、実績報告書提出事務
【主な予算費目】	役務費(通信運搬費)、委託料、負担金補助及び交付金(負担金・補助金)

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

市単独では実施することが難しい地下水対策に関して、財団と連携して各種事業に取り組むため、本市地下水使用量から算出された負担金の支払いを行った。井戸所有者(使用者)へ取水量の報告書の提出を依頼し、県へ進達した。(報告書提出件数(紙媒体):123件)雨水タンク設置に伴う補助金交付申請受付、決定・確定通知の送付、支払い事務を行った。(交付8件、補助額193,000円) 前年度有機フッ素化合物の濃度が高かった個人井戸の継続調査を行った。(1件)地下水中の硝酸性窒素濃度低減のための市独自の削減計画の策定に向けた検討会議を開催し、開始した。
 以上の成果として、地下水の保全に繋げることができた。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

県、熊本地域11市町村、くまもと地下水財団と連携し、地下水涵養・硝酸性窒素等に向けた総合的な地下水保全対策を行う。
 くまもと地下水財団に対し事業費及び事務費負担金を支払う。
 熊本県地下水保全条例に基づく地下水採取報告等の事務を行う。
 雨水タンクや雨水浸透ます設置者に購入費の助成を行う。
 昨年度に引き続き市独自の硝酸性窒素削減計画の策定に向けた検討会議を行う。
 熊本地域地下水総合保全管理計画の令和8年度改定に向けた県協議に参画する。

③予算の主な増減の理由

市による井水検査終了に伴う委託料の減

成果指標

- ア 地下水採取量報告書の提出割合
- イ 雨水タンク補助件数
- ウ

(単位) データ取得方法

- % 報告書の提出数/報告書の送付数
- 件 補助実績集計より

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	%	87	84.2	92	83.9	83	83	83	83
イ	件	7	7	7	8	7	7	7	7
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円			223	193	223	223	223
	繰入金	千円							
一般財源	千円	2,319	2,345	2,782	2,494	2,355	2,355	2,355	2,355
(A) 事業費計	千円	2,319	2,345	3,005	2,687	2,578	2,578	2,578	2,578

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

雨水タンク設置者に対して補助金を交付することにより、市民の雨水に対する利活用を推進し、地下水の保全に繋げることができた。

(4)今後の事業の方向性

- 廃止
- 縮小
- 事業のやり方改善
- 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)